



ドン・ギブソン氏
クレーマー・システムズ社
共同創業者兼最高技術責任者

クレーマー・システムズ社の代表的な製品である「Cramer」の特長とは。

ドン・ギブソン氏（以下、DG）統合された単一のインベントリ・データベースを中心に据えることでOSS（Operation Support Systems）をシンプルかつ強力にして、ネットワークシステム変更時に伴う多くのプロセスを自動化し、より効率的にリソース管理を行います。また、個別のサービスフルフィルメントから、大規模なネットワークプランニングやネットワークプロビジョニングまでを実現します。さらに、ネットワークシステムを変更するための多くの業務／技術プロセスは、Cramerのアプリケーションで自動化されて、ネットワークやサービスの設定情報は自動的に保存されます。

Cramerの優位性とは。

DG 単一のアプリケーションでプロ

クレーマー・システムズ社

NGNへの移行プロセスの中でOSSの最適化と自動化を実現してデータとプロセスの統合を図る

世界の通信事業者向けのインベントリによるバックオフィス・オートメーション・ソリューションの有力プロバイダーである英クレーマー・システムズ（Cramer Systems）社。本年3月、同社の代表的な製品「Cramer」の最新バージョン「Cramer6」が発表された。ここでは、同社の共同創業者兼最高技術責任者のドン・ギブソン（Don Gibson）氏にCramerの特長とCramer6の拡張ポイントを伺った。

セスの自動化だけでなく、保存された情報をネットワークへ正確に反映することです。サービスプロバイダーは、この機能を、例えばネットワーク・インベントリ・マネジメントやサービス・マネジメント、本格的な全社向けのサービスフルフィルメントやサービス・アシュアランスの自動化などの様々な用途で使用できます。

3月に英国で「Cramer6」を発表しました。その拡張ポイントはどこですか。

DG Cramer5では、OSSの最適化と自動化を追求しました。そしてCramer6では、データとプロセスの統合をテーマとしました。そのためCramer6では、統合インベントリの周囲に「ディスクバリエーションエンジン」「アクティベーションエンジン」「サービスカタログ」という3つのアプリケーションモジュールを新たに配置し、既存の主要5モジュールに4

つの拡張を施しました。これらを従来のOSSアプリケーションのように個別に提供するのではなく、高度に統合されたスイート製品の形で提供します。これにより通信事業者は、より大規模なOSSをシンプルかつ効率よく操作できるようになります。

今回の拡張はNGN（次世代ネットワーク）を意識したものでしょうか。

DG もちろんですが、NGNへの移行よりも移行期間中のオペレーションの方を現在は重要視しています。NGNへの移行といっても、ネットワーク設備だけでなく、インベントリの履歴や顧客ごとのSLA、オペレーションごとのデータなどを通信事業者の情報資産として保護、移行、有効活用することが重要だからです。

クレーマー・ジャパン株式会社

TEL : 03-5219-1290

FAX : 03-5219-1201

URL : <http://www.cramer.jp/>